

平成27年度
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書
(冬期調査)



児島湾の高島で15時ごろねぐら入りする前に大集結するカワウ

日本野鳥の会岡山県支部

平成28年 1月

岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査

I . 目的

カワウは、近年個体数・分布域が増加・拡大し、採食地である河川・湖沼において人間活動との軋轢が増加している。しかし、過去において著しく生息数が減少し絶滅が危惧されたこともあることから、生息数調査及び繁殖状況調査、行動実態調査等を行い、県下の生息実態を明らかにして人との共生を図る基礎資料とする。

II . 調査方法

1 . 調査時期

カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらやコロニーにおける個体数調査を行う。本調査を行うに当たり、11月に会員へのアンケートと事前調査によりカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月に行う。

2 . 調査場所

河川流域において、コロニーやねぐらが存在する場所：

ねぐら個体数調査

ねぐらにおける個体数の調査は、最も基本的で重要な調査である。カワウは多くの場合は水辺近くの林や竹林をねぐらとして利用する。事前に調査をしたねぐらおよびねぐらとして利用するコロニーにおいて、日没前の16時ごろから、調査開始時にすでにねぐらに入っているカワウの個体数をカウントしておく。その後、ねぐらを出入りするカワウの個体数を方向別に時間と共に記録する。12月のカワウがねぐらに帰還する時間帯は、日の入りから30分前後を目安として、17時ごろまでとする。調査の初めに居た個体数に出入りした数を足し引きして、最終的にその日にねぐらをとったカワウの数とした。

III . 調査結果

県内で冬期に生息するカワウの数は、3,140羽であった。

その内、吉井川水系で1,090羽、児島湾を含む旭川水系で1,120羽、高梁川水系で463羽、その他海上における島部で467羽であった。

11月の事前調査では、32ヶ所にねぐらを確認していたが、12月の本調査ではその中の7ヶ所でねぐら入りする個体を確認できなかった場所があった。これは、夏ねぐらとして少数の個体が利用していたが、本格的冬季になってより安全な多数が集まる冬ねぐらの方へ移動したものと考えられる。カワウねぐらの確認場所とカウント羽数を表-1に示す。各河川における出現割合を図-1に示す。

また、確認された場所図を図-2に示す

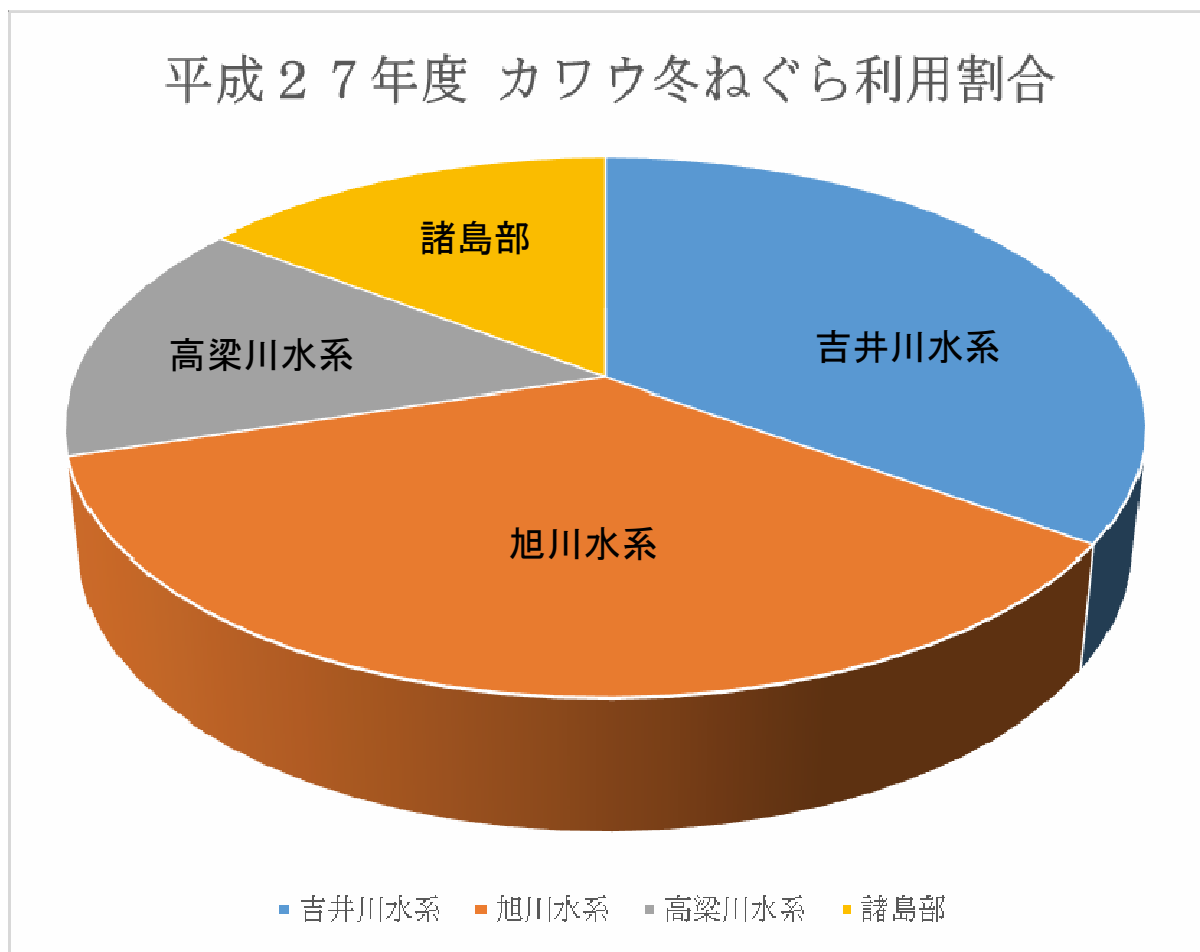
表-1

平成27年度 カワウ冬ねぐら利用個体数調査結果

No.	河川名	ねぐら場所	個体数	冬期の状況
1	吉井川	岡山市東区川口 中州 林	305	コロニー場所
2	吉井川	岡山市東区百枝月 豆田対岸 竹林	390	冬ねぐら
3	吉井川	赤磐市熊山勢力 竹林 (山陽道橋の下流)	86	冬ねぐら
4	吉井川	和気町佐伯苦木 竹林	18	冬ねぐら
5	吉井川	和気町佐伯塩田 竹林 (周匝コスモス街道対岸)	64	夏より継続
6	吉井川	津山市瓜生原 竹林 (押淵上バス停対岸)	0	夏ねぐら
7	吉井川	津山市日上 竹林	103	夏より継続
8	吉井川	津山市宮尾 竹林 (新錦橋の上流)	51	冬ねぐら
9	吉井川	鏡野町 奥津湖 竹林 (苦田大橋の上流)	11	冬ねぐら
10	吉野川	美作市尾谷 竹林 (尾谷橋の下流)	62	コロニー場所
11	吉野川	美作市巨勢 竹林 (川が湾曲する場所)	0	夏ねぐら
12	吉野川	美作市北原 竹林 (天神橋の下流)	0	夏ねぐら
吉井川水系 小計			1,090羽	
13	児島湾	岡山市中区新岡山港 高島 竹林と林	712	夏より継続
14	旭川	岡山市北区中原 河川内林 (三野公園前)	274	コロニー場所
15	旭川	岡山市北区御津中牧湯須 竹林	22	冬ねぐら
16	旭川	岡山市北区御津金川 竹林	0	夏ねぐら
17	旭川	岡山市北区建部町吉田 竹林 (中吉橋上流)	62	冬ねぐら
18	旭川	美咲町西坪和 旭川ダム湖 竹林	0	夏ねぐら
19	旭川	真庭市法界寺 竹林	48	コロニー場所
20	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡 竹林	2	夏ねぐら
旭川水系 小計			1,120羽	
21	高梁川	倉敷市水島川崎通り 三角池 林	0	夏ねぐら
22	高梁川	倉敷市連島町西之浦 霞橋上流中州 鉄塔2基	91	冬ねぐら
23	高梁川	倉敷市酒津 竹林 (清音古地の対岸)	202	冬ねぐら
24	高梁川	総社市福谷 竹林	47	冬ねぐら
25	高梁川	高梁市松山下神崎 竹林	87	冬ねぐら
26	高梁川	高梁市高倉町尾崎 竹林と林	0	コロニー場所
27	高梁川	新見市法曾 竹林 (佐伏川の上流)	0	夏ねぐら
28	高梁川	新見市金谷 河本ダム 竹林	14	夏より継続
29	高梁川	新見市菅生 千屋ダム 竹林	11	夏より継続
30	小田川	井原市木之子町 竹林と林	11	コロニー場所
高梁川水系 小計			463羽	

No.	河川名	ねぐら場所	個体数	冬期の状況
3 1	久々井湾	備前市久々井 前島	2 5 6	コロニー場所
3 2	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	2 1 1	コロニー場所
海上の島 小計			4 6 7羽	
総 合 計			3,140羽	

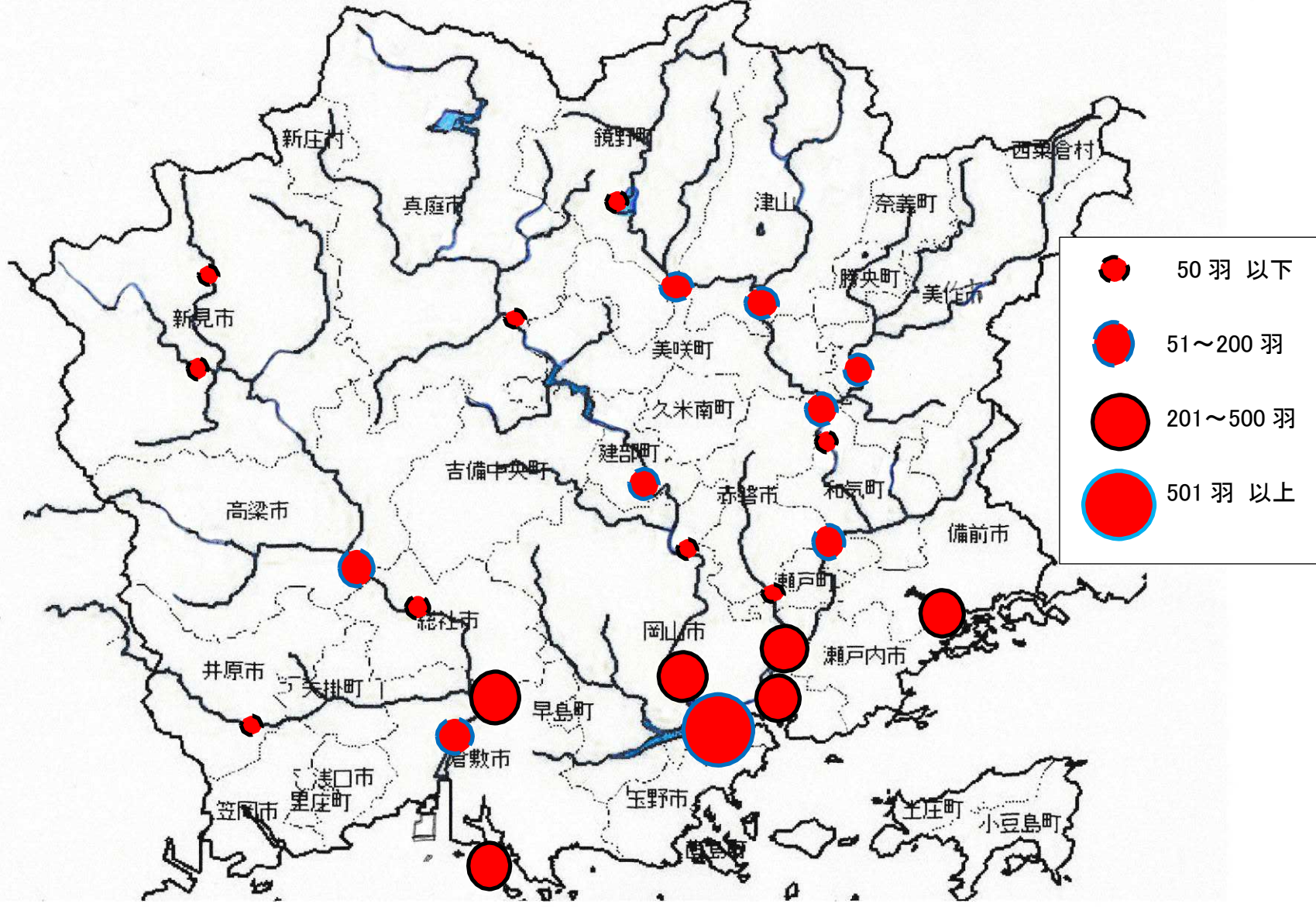
図－1 各河川における出現割合



各割合（県内の冬期カワウ全生息数：3,140羽）
 吉井川水系 : 34.7% (1,090羽) 旭川水系 : 35.7% (1,120羽)
 高梁川水系 : 14.7% (463羽)
 諸島部 : 14.9% (467羽)

確認された場所図

図一 2



IV. まとめ

平成27年冬期において岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら」入りする羽数をカウントして調査した結果、総数3,140羽を数えました。今年度、繁殖後の夏期調査でカウントした羽数は、2,282羽でしたから、858羽増加していたこととなります。この増加羽数個体は、冬期に県外から渡来したものと考えられる。

今回確認された冬期羽数は以前の調査と比較すると表-2となる。

ここ9年～10年の間ほとんど羽数の変化が無いようである。

表-2

調査年度	平成27年度	平成20年度	平成18年度	平成14年度
確認羽数	3,140	3,245	3,344	2,251

追記：

今回のカワウねぐら調査に当たって、初めて確認された珍しいねぐら場所があった。通常のカワウのねぐらは、川沿いの竹林または樹林を利用することが多いが倉敷市連島町西之浦 霞橋上流の中州にある送電線の鉄塔をねぐら場所としている個体が多数いる事が記録された。その写真を写真-1に示す。

写真-1

